

平成 28 年度 清水町総合教育会議 第 2 回会議 議事録

1. 日 時 平成 29 年 2 月 28 日 (火)

開会時間 午前 11 時

閉会時間 午後 0 時 17 分

2. 場 所 清水町役場 別館 2 階 会議室

3. 構成員 町長 山本博保
教育長 山下和之
教育長職務代理者 中里佳代
教育委員 青木建夫
教育委員 葛本志津江
教育委員 三井勝彦

事務局 野田敏彦 教育総務課長
古屋 勲 教育総務課参事兼指導主事
武藤 剛 教育総務課指導主事

説明員 日吉泰裕 こども未来課長
渡邊秀一 生涯学習課長
長島 聡 課長補佐兼図書館長

オブザーバー 関 義弘 副町長
石田尚志 総務課長

4. 議 事

- (1) 清水町の教育施策について
- (2) 新図書館の建設について
- (3) その他

5. 会議概要

(開 会)

(事務局)

定刻になりましたので、ただいまから平成28年度第2回清水町総合教育会議を開催いたします。

本日は、説明員として、事務局から教育総務課長及び指導主事、また、生涯学習課長及び課長補佐兼図書館長、こども未来課長が出席しております。また、オブザーバーといたしまして、町から関副町長、石田総務課長が出席しておりますので御報告いたします。

それでは会議に入ります。まず、開会に当たり、山本町長から御挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたします。

(町長)

皆様、こんにちは。町長の山本博保でございます。

山下教育長をはじめ、教育委員の皆様方には、日頃から清水町の教育行政に大変ご尽力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、第1回の会議では、「清水町教育大綱」について、基本目標の4点に沿って、その実現に向けた教育施策の検証を行ったところでありますが、教育大綱が策定されたことにより、清水町の教育が目指す方向性と教育施策がより明確になり、以前にも増して行政と教育委員会の一体感が高まっております。

前回、教育大綱の検証を進める中で、①J E Tプログラムを活用したA L Tの配置による成果や課題を把握する。②清水町のよさを学び、郷土への愛着と誇りがもてるような取組を、町民が一体となって進める。③I C T環境の整備については、教育的な効果を検証しながら、長期計画に沿って、整備を進める。④いじめについては、未然防止の取組と共に、万が一を想定した備えが必要である。⑤新図書館については、清水町ならではの図書館に特化する。⑥事業の進捗状況をはかるものさしとして、成果を具体的な数値として「見える化」する必要がある。等の御提言をいただきました。本日は、これらの検証を踏まえて、次年度に向けた教育施策について、検討したいと考えております。

それぞれのお立場から忌憚のない御意見をいただき、清水町の教育の方向性を見極め、実りある教育施策を継続的に実現できるよう、お互いに共通認識をもって議論してまいりたいと思っております。

本日は、よろしくお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。それでは議事に入りたいと思います。ここからの議事進行は、山本町長にお願いいたします。

(町長)

それでは、議長役を務めさせていただきます。

次第に沿って進めさせていただきます。

本日の議題1「清水町の教育施策について」、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

御説明させていただきます。

資料1をご覧ください。これは、平成29年度予算案を示したものです。歳出総額は101億24000万円であり、昨年度と比較すると2億5800万円余の増額となる大型予算となっております。そのうち、主にこども未来課の所管する3款2項の児童福祉費17億76万7000円を「A」とし、10款の教育費15億8794万9000円を「B」としますと、教育委員会所管のAとBの合計「D」は32億8871万6000円となります。これを全体予算の「C」と比較しますと、32.5%が教育委員会の所管する予算となっております。これを前年度の28億5千万円余と比較しますと、4億3200万円余の増額、15.2%増の予算となっております。子育て支援、教育に関する予算の占める割合が大きいことを御理解いただきたいと思えます。

ここからは、教育委員会所管の主要事業を関係3課長より御説明させていただきます。

まずは、教育総務課から順次、御説明いたします。

(教育総務課長説明)

(生涯学習課長説明)

(こども未来課長説明)

(事務局)

なお、予算には見えてきませんが、前回の総合教育会議で、葛本委員から御意見をいただきました、柿田川を代表とする自然や文化など、ふるさとに学び、郷土への愛着と誇りを持つことは、次代の清水町を担う子ども達にとって、大変重要と考えております。との御意見について、早速、校長会において協議し、清水中の卒業する3年生が3月10日(金)の午前中に柿田川のオオカワジシヤの除去作業を体験することをやります。

また、中里委員からの御意見のうち、いじめ問題について、万が一を考えての備えは不可欠であり、第三者機関への調査など、条例の整備も必要かと聞いておりますが、その点はどのようになっているのかとの御意見については、1月教育委員会で条例案を御審議いただき、3月定例議会に条例案を提出させて

いただいております。

以上、教育委員会所管の3課から御説明申し上げましたが、よろしくお願ひいたします。

(町長)

ありがとうございました。

清水町の教育施策について、説明がありました。

今回、本案は、明日から始まる平成29年第1回定例議会に議案として上程した一般会計予算案のうち、教育委員会所管の主要事業であります。町の財産である未来を担う子供たちに向けた教育施策等を具体化していくための予算だと考えております。

委員の皆様から御質問・御意見、そして新たに御提案がありましたら、お願ひいたします。

(青木委員)

清水小学校、西小学校の駐車場の整備について、これほどの費用が必要なのでしょうか。整備内容を教えてください。

(教育総務課長)

場所は西小学校運動場の東側、西幼稚園の前、南側角地の植栽のある場所に25台程度の駐車場整備します。植栽の撤去、整地、アスファルト舗装、フェンス・防球ネットの設置の費用を含め1450万円となります。

(青木委員)

他のケースと比べて妥当な金額ということでしょうか。

(教育総務課長)

清水小学校の駐車整備も行いますが、そちらと比較しても妥当なものと思います。このあと入札を行いますので、この金額は確定したものではありません。

(中里委員)

西小学校の用地取得用測量とはどのようなことでしょうか。

(教育総務課長)

西小学校の運動場には借地がありますが、その所有者から売払い要望があったため、測量を行い、所有者と合意が得られれば、補正予算を組み、用地を取

得します。そのための費用です。

(青木委員)

防犯カメラ設置の予算が計上されているが、企業からの寄贈によるものとの兼ね合いはどのようになっていますか。

(教育総務課長)

これは、町内の事業所に飲料水の販売機を設置することで、事業主が公共施設に防犯カメラを寄贈するというもので、去年は西小学校、本年は清水小学校に防犯カメラ各1台を設置しました。現在、両小学校は、正面玄関付近に設置しておりますが、死角もあることから、町としてさらに各2台設置するための予算を計上しています。

(葛本委員)

民間保育施設が多くなり、運営支援経費が大きな金額となっているが、その助成はどのようなものでしょうか。

(こども未来課長)

民間保育施設の支援であります。特別保育等に伴う補助金、保育するための扶助費を支出するものであり、この約5億5千円余については、3保育所、3小規模保育所が対象となっております。なお、この予算については、全てが町負担ではなく、国、県から1/3、あるいは2/3等の補助があります。

(葛本委員)

補助金は、子どもの人数や施設の規模によって違うのでしょうか。

(こども未来課長)

子どもの人数、保育士の数、子どもの年齢、特別保育の事業実施等により、違いがあります。

(三井委員)

清水町のスポーツ選手が各分野で成果を挙げています。予算では、体育施設の維持管理費が大きいですが、成果継続のためにも、選手や指導者が情報共有するための施設や取組、トレーナーの育成等、ソフト面での取組が必要であると考えますが、どうでしょうか。

(生涯学習課長)

競技力向上については、各競技団体に任せており、町としては、スポーツ指導員を核とした、レクリエーションの振興に力を注ぐとともに、健康増進のための施策を充実させております。施設については、修繕、改修の経費が大きいこともあり、現在、アスリート育成のための新たな施設は考えていません。温水プールのトレーニング室や町体育館における場所の提供は継続していきます。

なお、トレーナー育成については、現在、行っていませんので、今後検討していきます。

(中里委員)

教育関係費の予算が15.2%増ということだが、不登校や教員の不祥事、家庭環境に起因する問題の増加、卒業式での生徒の動向も心配される中、ハード面のみならず、ソフト面の一層の充実を図っていく必要があると思いますが、いかがでしょうか。

(教育長)

本年度、SSWを町単独で雇用するための予算を計上していますが、今後も、生徒指導を担当する教員の配置等、教員が本来業務に専念するためにも、専門性を有する人材の配置等、ソフト面での充実についても検討していく必要があると考えています。

また、静岡県においては、部活動顧問は教員でなくてはなりません。国では、専門的な技能を持つ方が部活動の顧問となれるよう検討を進めていますので、人材の活用についても進めてまいります。

このように様々な人材が関わることで、子どもたちの関係づくりがさらに進み、不登校やいじめの解決につながっていくものと考えています。

さらに、学校運営協議会を機能させることにより、地域とともに協働することも問題解決につながると思います。

(青木委員)

ICT推進の予算が少ないと感じるが、町として将来的な展望をどのように描いているのか、中長期的なプランがあれば教えてください。

(教育総務課長)

清水小学校の教育用パソコンが390万円余となっていますが、これはリース契約の単年度の予算であり、5年間では数千万円となります。ICT機器については、現場の要望を受けて配置しており、昨年、南小学校に導入したタブ

レットについても、現在、その活用状況を確認するとともに、他校の教職員を交えた研修において成果を検証しています。今後、各校の教育用パソコン更新計画に沿って、タブレットやプロジェクター等、有用なICT機器も配置していく予定です。

(青木委員)

教員からの要望でICT機器の配置をしているとのことですが、そこには明確な方針が必要だと思います。町、学校はよく議論した上で、中期的な展望を持って進めた方がよいと思います。

(教育長)

ICT教育においては、活用能力を育てること、情報モラルを身につけさせることがねらいとなっています。この視点から中長期的な目標を設定していく必要があると考えています。

(葛本委員)

情報化社会の進展に合わせて、子どもが触れて、使えるもの機材のある環境を整える必要があると考えていますが、いかがでしょうか。

(教育総務課長)

当町においては、早くからパソコン教室を設置して、小学校からICT教育に取り組んできた。今後も、新たなタブレットやプロジェクター等の成果を検証する中で、配置を進めていきたいと考えています。

(町長)

御意見ありがとうございました。

それでは、他に御意見が無いようでしたら、これで議題1「清水町の教育施策について」は、以上とさせていただきます。

続いて、議題2の新図書館建設についてであります。

新図書館建設につきましては、私の3期目の公約の中で強い思いがありました。図書館の始まりは、古くはエジプトの時代と言われていますが、図書館は人類の第2の頭脳であるとも言われ、また、図書館は、魂の診療所であるとエジプト周辺のある町で言われていました。

このような中、町の財政力には限界がありますが、国や県に相談し、旧まちづくり交付金の対象事業となり、財源的な目安が立ったところであります。今後、実現に向けて、広く住民に意見を聴取しながら、使いやすく、できてよか

ったという図書館にしたいと考えています。

それでは、生涯学習課長から説明をお願いします。

(生涯学習課長) 資料の説明。

(町長)

ありがとうございました。

それでは、委員の皆様の御意見ををお願いします。

(葛本委員)

駐車場の不足、書庫が手狭、2階利用の手続き等の課題があり、今の場所からは離れなければならないと思いますが、緑に囲まれた現図書館の自然環境はすばらしいので、候補地として、柿田川公園を考えたらいかがでしょうか。

(生涯学習課長)

蔵書量や駐車スペース、2階の資料室や宮西達也コーナー等のあり方については、今後の課題として検討し、明るく、開放的な図書館にしたいと考えています。また、「柿田川公園に新図書館を」という御意見であります。都市公園法の制約や地域交流センターとの連携、保健センターとの合築等の課題もあり、難しい面もありますが、選択肢の一つとして検討していきます。

(葛本委員)

課題はあると思いますが、アンケートの結果を見ても、利便性を求める声が多いので、検討委員会でも話し合っていたいただきたいと思います。

(青木委員)

図書館の役割をもう一度見直す必要があると思います。学校には図書室があり、インターネットの情報収集できる。これからの図書館が従来型でよいのか、時代に沿った図書館の機能は何か、模索しながら、目標やコンセプトを明確にして、図書館建設を進めることが大切だと思います。

(中里委員)

現図書館は階段があり、書架間も狭いので、新図書館には、バリアフリーを強く要望します。また、40%の補助があるとのことですが、保健センターとの合築については、今後も検討していく必要があると思います。

(三井委員)

ネットで全てが調べられ、本には電子書籍があり、ペーパーレスになっている。著作権の問題もあるが、それらを活用した図書館も考えられるが、いかがでしょうか。

(教育長)

図書館建設について、2つの視点で考えています。1つは、なぜ建設するのか、どのような役割を果たすのかということです。これは、図書館が学びの場、交流の場、情報発信の場としての役割であり、そして、学校、企業、個人をつなぐネットワーク機能の役割を果たすことです。もう1つは、運営の問題であり、スタッフの拡充と人材育成により、その機能を果たすことです。

また、統計によると、利用者が子ども連れの母親や高齢者が多く、ターゲットをどこに絞るのかということは重要な視点です。これらの2つをつなげるものは、町づくりのコンセプトが「町の元気づくり、健康づくり」であり、この点から、保健センターとの合築も意義があると思います。

なお、新聞のコラムにもあったが、ICT化が進み、ネット社会が進展しても、日本の文化としての「文字」は守っていききたいと思います。

(青木委員)

子役の俳優が月に60冊を読み、しかも、先日私立中学校にも合格したとのことで、ネットではなく、本というハードなのが、不思議に感じました。

(町長)

教育委員の皆様方には、大変貴重な御意見をいただきありがとうございました。時間も尽きてまいりましたので、以上とさせていただきます。

それでは、これで会議を閉じたいと思います。本日は、率直な意見交換が出来たことに、大変感謝しております。

これで、議事は終了し、事務局に進行をお渡しします。

ありがとうございました。

(事務局)

ありがとうございました。

皆様から御提案いただいた意見につきましては、今後、教育委員会や事務局等で検討し、あらためて来年度の総合教育会議で提案いたします。

本日は、委員の皆様、長時間にわたりありがとうございました。

(閉 会)